

中学生被爆地派遣事業

中野平中学校 3年 田中秀弥

私達は、8月5日・6日に「平和使節」として広島へ行き、広島平和記念資料館を見学して広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参加してきました。



広島平和記念資料館



1日目の8月5日

には、広島平和記念資料館に行きました。中野市を出発する前に信州中野駅で先生方から「資料館に行ったらショックを受けると思うよ」と言われて改札口でも駅員さんに同じことを言われたので少し覚悟して行きました。資料館には当時の写真や遺品などがあり原爆の恐ろしさを目の当たりにしました。資料館では写真撮影がOKで周りの人達は普通にシャッターを切っていました

ましたが私はあまりの衝撃と恐ろしさでそんな行動はできず言葉が出ませんでした。改めて戦争・核兵器製造を直ちにやめてほしいと強く思いました。

広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式

8月6日には広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参加してきました。私達にとって大切なものは一人一人の命でありこれ以上大切なものはありません。77年前の人達もそれぞれ先の人生があり夢や希望、やりたい事が沢山あったと思います。しかしそれを一瞬にして奪ってしまった核兵器。そんな核兵器が今の世界には約13,000発あるのが現実です。この世界を平和にしていくのは唯一の被爆国である日本の広島から世界を平和にしていくのが重要だと感じました。

中学生被爆地派遣事業で学んだこと

まず、「平和使節」として広島に行き広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式に参加するなど貴重な体験をさせていただき感謝します。普段学校の授業で原爆の事について学んだりして恐ろしいものだとは知っていましたが、今回広島に行って当時の写真、遺品を見てとても衝撃を受け本当に恐ろしいものだと五感で感じました。広島で起きた事がもう二度と起きてほしくありません。



今生きる私達の普通の生活。この「普通」がとても幸せだということ、それと今回学んだ原爆の本当の恐ろしさを周りの人に語り継ぎ平和にしていくのが私達の使命だと思います。

中学生被爆地派遣事業

中野平中学校 3年 阿藤凜

ぼくたちは、8月5日・6日に中野市の中学生代表として平和記念資料館の見学や広島平和記念式典に参加してきました。

平和記念資料館

まず初日には、平和記念資料館に行ってきました。平和記念資料館には、被爆による影響や、爆風による被害、放射能による被害などの写真や遺品がありました。ぼくは、それらの写真を見てかなりのショックを受けました。戦争で使用された核兵器による被害は恐ろしく怖いということを改めて思いました。また、原爆ドームでは、被害の残酷さや恐ろしさを感じました。



広島平和記念式典

2日目には、広島平和記念式典に参加してきました。他の中学生などたくさんの方が参加していました。テレビで見たことがある平和記念式典に出ることができたことがいい経験になりました。被爆者の話を聞いて、これからの日本を担っていくぼくたちは核兵器を絶対に使わない必要があると強く思いました。

明るい未来へ向かって

2日間を通して、日本で戦争が行われていないことは、どれほど幸せなことなんだと改めて思いました。ぼくたちは、これからの日本を担っていきます。ここまで被爆者の方々を中心に創ってきた、核兵器のない日本をこれからはぼくたちが引き継ぎ、創っていく番です。明るい未来に向かって核兵器のない日本、そして戦争のない世界を創りたいと思います。しかし、2月頃からウクライナとロシアの間で戦争が行われています。そしていつの間にか半年が経ちました。ぼくは、今すぐにも戦争をやめてほしいです。こうした戦争をなくすためにも核兵器ゼロを世界で目指すべきです。過去に行われたことは変えることはできないので、明るい未来を創るために自分たちにできることをしていきたいです。



平和記念式典終えて

中野平中学校 3年 酒井文伽

私は、8月5・6日に広島県広島市へ行かせていただきました。その目的は、いくつかの中学校を代表し、「平和使節」として広島平和記念式典に参加するためです。

この場をお借りして、私達の2日間の様子をお伝えできればと思います。

初めに、派遣させることとなった経緯を少しだけご説明したいと思います。

新型コロナウイルスの影響で、2年ほど中止になっていた平和記念式典ですが、今年になって再び行われることが決まりました。そして今回、広島に代表としていくことになったのが、中野平中学校でした。当日まで間もなかったため、中野平中学校の代表として、生徒会三役である私たちが派遣されることとなりました。

広島に到着してから初めに、「原爆の子の像」のところで全校で製作した千羽鶴を奉納しました。周りには数えきれないほどの様々な紙鶴が奉納されており、平和絵の願いが強く感じられました。

その後、像のすぐ近くにある、原爆ドームを見学しました。画像などでは見たことがあっても実際には見るのは初めてでしたが、やはり爆心地のすぐ近くにも関わらず、ちゃんとした形を保っているところを見るのは、カメラを通して見るよりも迫力があります。もし機会があれば、皆さんにも自分の目で確かめてほしいです。



1日目の最後に、広島平和記念資料館を訪れました。広島に行くにあたって、噂は何度も聞いていましたが、やはり胸が苦しくなるばかりでした。私の中で特に印象に残っているのは、亡くなった子供達の言葉と遺品が展示してあるところです。『次帰ってくる時は、お土産よろしくね』まさか、原爆を落とされるなんて微塵も思っていなかった子供達の、日常を切り取ったような言葉。その言葉のそばにある遺品達。なんて言葉にしたらいいか分かりません。戦争は、原子爆弾は、この世界にあってはいけないと強く思いました。

そして迎えた翌日。私達は朝早くから、平和記念式典のために会場へ足を運びました。テレビの中継を見たという方もいらっしゃると思いますが、とにかく平和や原子爆弾の廃絶への強い願いがこもった式典でした。被爆者の方々が寄せた多くのメッセージも政治関係者の方々の言葉も、とても重く、切実なものでした。こんなにたくさん平和を願う人がいるのに、こんなにたくさんくだらない戦争で苦しんでいる人がいるのに、なぜ戦争は起こるのでしょうか。戦争を起こそうとする人達は、この人たちの声が聞こえないのでしょうか。私もそんな思いが心の中に生まれた、そんな式典でした。



「平和」「原爆」「戦争」これらのことを深く考え直す、とても濃い2日間でした。こんな貴重な体験、長い人生の中でもう無いかもしれません。広島平和記念式典に参加することができ、本当によかったです。

戦争は、過去のことでない。今現在も、世界のどこかで、私たちの近くで、起こっています。理不尽な攻撃に命を奪われ、想像もできないような苦しみを抱えている人がいます。

今を生きる私達に、何ができるのでしょうか。どうしたらこんなくだらない「戦争」に、終止符を打つことができるのでしょうか。

私一人にできることなんて、あるかどうか分かりません。でも、私は自己満足のために人の命を奪いたくない。戦争に加担なんてしたくない。

世界が一刻も早く「平和」になることを、戦争がなくなることを、心から願っています。